

## ホームページ

### 中央図書館のガイダンス・講習会案内

中央図書館事務部  
レファレンス課 近藤明子

中央図書館レファレンス課に配属されて早や2年。利用相談担当として、図書館3階のカウンターに座り、利用者からの様々な質問に対応する毎日を送っています。レファレンス課の業務としては、その他に、ガイダンス・講習会の企画・運営があります。現在、中央図書館では、以下の3種類のガイダンス・講習会を実施しています。

- ①新入生対象の図書館ガイダンス
- ②情報検索ガイダンス
- ③オンデマンド講習会

①の「新入生対象の図書館ガイダンス」は、主に基礎ゼミの授業時間を利用して行います。内容は、演習室のパソコンを使った蔵書検索演習と図書館内見学ツアーを組み合わせ、新入生が図書館を利用する第一歩となるよう、基本的な事項を押さえるようにしています。実施方法は、教員からの申し込みによる基礎ゼミのクラス単位での実施と、学部からの申し込みによる全員参加型の一斉実施の二通りがあります。平成23年度は、合計約3,000名（平成23年7月末現在）の新入生が受講しています。

②の「情報検索ガイダンス」は、毎年、春と秋に期間を設定し、中央図書館で提供している有料データベースの操作方法や資料の探し方などについて説明します。参加予約は不要で、学生・院生・教職員のどなたでも参加していただけます。データベースの操作方法については、提供元から講師を招くこともあります。その際には、「さすがプロ!」と思わせるような解説や事例を聞くこともでき、また質問にも答えていただけるので、データベース初心者から熟練者まで、幅広く参加していただけます。

③の「オンデマンド講習会」は、申込者の要望に応じて、オーダーメイドで提供する講習会です。学生・院生・教員を対象とし、友達同士やゼミ単位で、少人数（3人以上）でも申し込むことができます。実施例としては、いずれも教員からの申し込みですが、「国内論文の探し方（CiNiiを利用）」や「新聞記事の探し方（日経テレコン21を利用）」などがあります。ご担当のゼミの学生に、データベースの利用方法を含め、目的の論文や記事を探し出す方法を教えたいというご要望でした。オンデマンド講習会は、目的が明確なので、出席者の意欲も高く、活発な雰囲気になります。わたしたち図書館員も準備から当日の説明まで、とても気合いが入ります。

以上のようなガイダンス・講習会を実施する目的は、「一人でも多くの利用者に、図書館の蔵書検索システムやデータベースの有用性・利用方法を伝え、学習や研究に役立ててもらいたいこと」です。しかし、現在、ガイダンス・講習会への参加は強制ではなく、基本的に自主的なものです。ガイダンス・講習会を実施する上での今後の課題としては、いかに多くの利用者にガイダンス・講習会の存在をアピールし、呼び込むことができるか、という点にあると思います。

本部キャンパスには、約25,000人の学生・院生が在籍しています。全ての近大生が図書館のガイダンスや講習会を利用し、情報リテラシーを身に付けて社会へ出るために、図書館ができることは何か。どうすれば実現できるか。そんな野望(?)を心に秘めつつ、今日も図書館3階のカウンターで利用者からの質問に答えています。ガイダンス・講習会に関するお問い合わせ・ご質問などは、レファレンス課まで。ぜひ、ご利用下さい。